

## 「シンガポールの賃金動向（2009年10月）」

2009年の基本給賃上げ率は1.3%。2010年は1.6%

三菱東京UFJ銀行  
国際企画部CIBグループ

シンガポールの調査機関が2009年8月に実施したアンケート結果では、2009年の基本給賃上げ率は1.3%まで鈍化、賞与支給月数(AWSを除く)も1.6~1.9カ月に減少する見込みです。

### 1. 企業の基本給賃上げと賞与支給の動向（調査会社の調査結果）

シンガポール人的資源研究所(SHRI)とレミュレーション・データ・スペシャリスト(RDS)が2009年8月に共同で実施した調査結果(回答社数192社、以下『調査結果』)によると、シンガポール企業の賃上げ率は2009年の見込みで1.3%となった。景気には底打ち感があるが、2番底懸念もあるため、経営者は賃上げに依然消極的で、2009年の賃上げ率は、前回(1月)の調査時の1.5%より0.2ポイント低下している。2010年の賃上げ率の見込みは1.6%と低水準で推移しているが、景気回復期待から2009年の見込みの1.3%より若干上昇している。

賞与支給月数(除くAWS[※])の見込みは、2009年1.6~1.9カ月、2010年1.4~1.7%となっており、2008年の実績(2.0~2.4カ月)から低下している。以下に本調査結果の要旨を記載する。

#### (1) 賃上げ率、賞与支給月数のサマリー

調査結果によると、昨年・今年・来年の平均賃上げ率、賞与支給月数は以下の通り。

#### 【シンガポール：企業の平均賃上げ率、賞与支給月数(AWSを除く)】

	実績	見込み	見込み
	2008年	2009年	2010年
基本給賃上げ率	4.7%	1.3%	1.6%
賞与支給月数(除くAWS)	2.0~2.4カ月	1.6~1.9カ月	1.4~1.7カ月

(出所) SHRI、RDS調査結果(2009年1月、8月)より三菱東京UFJ銀行 国際企画部 CIBグループ作成

※2008年実績は2009年1月調査結果、2009年・2010年の見込みは2009年8月調査結果。

※AWS=Annual Wage Supplement。年間補助給与と訳される。シンガポールでは企業によっては「給与の1カ月分あるいは2カ月分相当をAWSとして支給する」としているケースがある。

#### (2) 賃上げ率について

2009年の基本給の賃上げ率見込みは1.3%。2008年の平均賃上げ率4.7%と比べると大幅に低下している。回答企業の60%は、今年の基本給の上げ幅をゼロにするとしており、この比率は、今年1月調査時点の38%から大幅に上昇している。なお、基本給をカットすると回答した企業は5%に留まっている。

業種別では、建設業界の賃上げ率が最も高く3.1~5.0%。最も低いのはエレクトロニクス関連業界(IT/Hi Tech)で0~0.7%である。

## 【シンガポール：企業の平均賃上げ率】

	実績	見込み	見込み
	2008年	2009年	2009年
全体の平均賃上げ率	4.7%	1.3%	1.6%
Managerクラスの平均賃上げ率	4.8%	1.2%	1.6%
Executivesクラスの平均賃上げ率	4.6%	1.3%	1.6%
Non-Executivesクラスの平均賃上げ率	4.4%	1.3%	1.6%

(出所) SHRI、RDS調査結果(2009年1月)より三菱東京UFJ銀行 国際企画部 CIBグループ作成

※2008年実績は2009年1月調査結果、2009年・2010年の見込みは2009年8月調査結果。

※Executivesクラス=専門学校卒業(Diploma)の一般社員、エンジニア等、  
Non-Executivesクラス=経理事務などを担当している社員。

## (3) 賞与(AWSを除く)

2009年の平均賞与支給月数は、1.6~1.9ヵ月と2008年の2.0~2.4ヵ月から低下している。クラス別には、2009年については、マネージャー1.9ヵ月、エグゼクティブ1.7ヵ月、ノン・エグゼクティブ1.6ヵ月である。2010年の賞与支給月数は1.4~1.7ヵ月と2009年より若干低下する見込み。

## 【シンガポール：企業の賞与支給月数(AWSを除く)】

	実績	見込み	見込み
	2008年	2009年	2010年
全体の平均賞与支給月数	2.0~2.4ヵ月	1.6~1.9ヵ月	1.4~1.7ヵ月
Managerクラスの賞与支給月数	2.4ヵ月	1.9ヵ月	1.7ヵ月
Executivesクラスの賞与支給月数	2.1ヵ月	1.7ヵ月	1.6ヵ月
Non-Executivesクラスの賞与支給月数	2.0ヵ月	1.6ヵ月	1.4ヵ月

(出所) SHRI、RDS調査結果(2009年1月)より三菱東京UFJ銀行 国際企画部 CIBグループ作成

※2008年実績は2009年1月調査結果、2009年・2010年の見込みは2009年8月調査結果。

※AWS=Annual Wage Supplement。「年間補助給与」と訳される。シンガポールでは企業によっては「給与の1ヵ月分あるいは2ヵ月分相当をAWSとして支給する」としているケースがある。

※Managerクラス=係長クラス、Executivesクラス=Diploma程度のクラス、  
Non-Executivesクラス=経理事務などを担当している社員。

## (4) AWS

AWSについては、78%の企業が支給する。平均支給額は基本給の1.1ヵ月分である。

## (5) 社員の採用

2008年は63%の企業が社員を採用したが、2009年1月の調査では「2009年中に社員を採用する予定の企業の比率は40%に低下」となっていた。2009年8月の調査では景気の底打ちを反映して「2009年中に社員を採用する予定の企業の比率は68%に上昇」となっている。

## (6) 新入社員の給与水準

【シンガポール： 新入社員の月額給与】 (S\$)

		2008年8月	2009年1月	2009年8月	1~8月上昇額
標準教育認定	GCE 'N'	1,046	1,057	1,094	37
普通教育認定	GCE 'O'	1,200	1,200	1,213	13
上級教育認定	GCE 'A'	1,300	1,300	1,367	67
秘書 (秘書資格あり)	PSC (Secretary)	1,500	1,500	1,527	27
National ITE証	Nitec	1,200	1,200	1,254	54
Higher National ITE証	Higher Nitec	1,372	1,350	1,366	16
専門学校 (エンジニアリング)	Diploma (Engineering)	1,700	1,700	1,732	32
専門学校 (その他)	Diploma (Others)	1,600	1,600	1,682	82
大卒 (エンジニアリング)	Degree (Engineering)	2,500	2,500	2,451	-49
大卒 (その他)	Degree (Others)	2,350	2,300	2,293	-7
経営学修士	MBA	2,800	2,900	2,909	9

(出所) SHRI、RDS調査結果(2009年1月)より三菱東京UFJ銀行 国際企画部 CIBグループ作成

※GCE: General Certificate of Education

N = Normal, O = Ordinary, A = Advanced

※PSC: Private Secretarial Certificate

※Nitec: National (ITE = The Institute of Technical Education) Certificate

## 2. インフレ率、失業率の動向

賃上げ率検討の要素として、(1)インフレ率、(2)労働力需給、(3)自社の業績、などが考慮されると考えられる。ここでは、(1)の関連データとして「消費者物価動向」、(2)の関連データとして「失業率動向」を掲載する。

【シンガポール: 実質GDP成長率、消費者物価上昇率、失業率推移】

	実質GDP 成長率(%)	消費者物価 上昇率(%)	失業率(%)
2003	3.1	0.5	3.8
2004	8.8	1.7	3.0
2005	6.6	0.5	2.6
2006	7.9	1.0	2.6
2007	7.7	2.1	1.6
2008	1.1	6.5	2.8
	(2009.1-6月) -6.5	(2009.1-8月) -0.9	(2009.6月) 3.3

(出所) CEICより三菱東京UFJ銀行国際企画部CIBグループ作成

※失業率は季節調整済み

【シンガポール: 品目別の消費者物価上昇率】 (%)

	全体	食費	被服費	住居費	通信・ 交通費	教育関連	保健	レジャー 他
2002	-0.4	0.0	0.2	-2.2	-1.0	1.4	3.2	0.3
2003	0.5	0.6	0.4	-0.5	0.1	2.3	2.0	0.9
2004	1.7	2.0	0.1	-0.1	1.2	4.2	6.0	2.3
2005	0.5	1.3	0.0	0.8	-2.2	2.0	0.4	1.7
2006	1.0	1.6	0.7	2.7	-1.5	1.9	0.9	0.7
2007	2.1	2.9	0.6	0.4	2.0	1.3	4.1	3.2
2008	6.5	7.8	1.5	12.7	3.3	3.4	5.6	3.7
2009.1-8	0.5	3.2	1.0	1.8	-4.5	-0.2	3.3	0.3

(出所) CEICより三菱東京UFJ銀行 国際企画部 CIBグループ作成

本レポートに関するお問い合わせ先  
国際企画部CIBグループ 北村広明

E-mail:hiroaki\_2\_kitamura@mufg.jp

TEL：（東京）03-3240-7864

- ・ 本資料は情報提供を唯一の目的としたものであり、金融商品の売買や投資などの勧誘を目的としたものではありません。本資料の中に銀行取引や同取引に関連する記載がある場合、弊行がそれらの取引を応諾したこと、またそれらの取引の実行を推奨することを意味するものではなく、それらの取引の妥当性や、適法性等について保証するものでもありません。
- ・ 本資料の記述は弊行内で作成したものを含め弊行の統一された考えを表明したものではありません。
- ・ 本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。最終判断はご自身で行っていただきますようお願いいたします。本資料に基づく投資決定、経営上の判断、その他全ての行為によって如何なる損害を受けた場合にも、弊行ならびに原資料提供者は一切の責任を負いません。実際の適用につきましては、別途、公認会計士、税理士、弁護士にご確認いただきますようお願いいたします。
- ・ 本資料の知的財産権は全て原資料提供者または株式会社三菱東京UFJ銀行に帰属します。本資料の本文の一部または全部について、第三者への開示および複製、販売、その他如何なる方法においても、第三者への提供を禁じます。
- ・ 本資料の内容は予告なく変更される場合があります。